

FoodBox作成背景・技術的目的

作成背景

高校卒業後ずっと一人暮らしで自炊を続けていたのですが、仕事終わりなどに買い物に行った際に、家に何の食材が残っているのか把握できていないことがありました。このような経験はきっと自分だけではなく、常に冷蔵庫の中身を全て把握できている方は少ないはずです。すでに家にある食材をまた買ってしまったり、賞味期限が迫っていて優先的に消費したい食材を使わないレシピを作ろうとしてしまったり。そこで、家にある食材と賞味期限を登録し、簡単に管理ができて、残っている食材からおすすめのレシピを提供できるようなアプリを作成することにしました。

テーマ（概要）

名前：Food Box

概要：家にある食材の登録・賞味期限の管理。
登録してある食材に応じてレシピを提供。

技術的目的

非同期処理の学習として、ユーザーページをSPAで構築することに挑戦し、フロントエンド技術の知識補完。
(課題と並行してJS・Reactの学習を進めていたので、成果として組み込みたいと思い、技術選定は下記の通りとなっています。)
UIデザイン、アニメーション実装で各種ライブラリやフレームワークの習得。
レシピ提供機能を外部APIを用いて実装し、APIの利用・活用の具体的な流れを習得。
DB設計・連携による実践的な構築の流れを学ぶ。
オブジェクト指向・コンポーネント指向に則った適切なコーディングを行い、実践的なコーディングを実施したい。

技術選定

MySQL

Laravel（Reactで構築したフロント画面とのデータのやりとりをJSONで行うため、APIサーバーとして構築する想定。）

React・ChakraUi（画面をSPAで実装。）

HTML・CSS